

巻頭言

自然，人間，技術

分析・計測部

山本豊



21世紀を目前にして人類は，人口の爆発的増加と食糧不足，森林の急速な減少と砂漠の拡大，資源の大量消費と廃棄物の増加というかつて経験したことの無い厳しい現実と直面している。これまでも人類は多くの困難を乗り越えてきたが，今日顕在化してきた問題はそれ以上に深刻である。それは“ガイア”としての地球が，人間によって自然のバランスを崩され出したのではないかというところにある。

これまで人間は自然から多くを学び取り，人間の知恵で技術を創り上げてきた。自然はよい手本であり，よき師であった。しかし，自然と人間の乖離がすすんできたのも事実である。直面する問題を解決するには，自然と共生できる技術の実現であり，そのための英知が人間に求められている。自然の営みに挑戦する技術は一時的には人間を快適にするだろうが，人類の幸福を保証してはくれない。

自然からもっと多くを学び，人間が知恵を絞り出せば，人類がさらに繁栄していくための技術を創り出していくことができる。何故なら，自然が与えてくれる情報と人間の知恵は無限なのだから。